

奥田院長のコメントが7/23・30号の週刊現代に掲載されました

週刊現代 7月23・30号

安倍昭恵夫人の「吊り出馬」
大谷翔平「2億ドル」で移籍
大泉洋の兄ってどうでしょう
岸田の政界大再編始まる

日本電産「永守帝国」の崩壊が始まった

カルト宗教で破滅した人々の「地獄」
安倍元総理の死 壊れたのは「民主主義」か
ただ後悔だけSPという悲惨なお仕事

医師も看護師も
ヘント
絶対に行つては
いけない
大学病院

寿命が延びる
こんな時だから、賢く命を守れ！
「救急車が来ない！」
とき救急処置
人手不足で出勤不能

「大丈夫です」と言われて信じられぬ
「殺されかけた」
2022真夏編
「役所からもらえる凄い大金」リスト30
「お薬手帳を見て、同じシステムの出さないという判断ができる人。他の医師の処方でも、遠慮せずに整理できるのが、本当の患者思いです」
新潟大学名誉教授の岡田正彦医師は、「⑮新しいクスリばかりでなく、古いクスリをうまく使うのが名医」だと語る。「製薬企業が勧めるに、どんどん新しいクスリを処方する医師が、最先端のクスリですが、最先端のクスリというのは副作用の可だつて未知数。使いたクスリをきちんとするほうが信頼でき、名医を選ぶか、ヤ者を選ぶかはあなた次第。医療情報をしつ

「大丈夫です」と言われて信じられぬ
「殺されかけた」
2022真夏編
「役所からもらえる凄い大金」リスト30
「お薬手帳を見て、同じシステムの出さないという判断ができる人。他の医師の処方でも、遠慮せずに整理できるのが、本当の患者思いです」
新潟大学名誉教授の岡田正彦医師は、「⑮新しいクスリばかりでなく、古いクスリをうまく使うのが名医」だと語る。「製薬企業が勧めるに、どんどん新しいクスリを処方する医師が、最先端のクスリですが、最先端のクスリというのは副作用の可だつて未知数。使いたクスリをきちんとするほうが信頼でき、名医を選ぶか、ヤ者を選ぶかはあなた次第。医療情報をしつ

東朋八尾病院の奥田真義院長は、⑬「スタッフとドクターが仲良く会話できているか」が重要だという。きちんと意見を言い合える信頼関係がある病院を選びたい。

整形外科では痛み止めなどのクスリを処方することがあるが、その際に⑭患者が飲んでいるクスリの全体にまで気を配つ

整形外科では痛み止めなどのクスリを処方することがあるが、その際に⑭患者が飲んでいるクスリの全体にまで気を配つ

整形外科では痛み止めなどのクスリを処方することがあるが、その際に⑭患者が飲んでいるクスリの全体にまで気を配つ